

女性活躍推進事業 【福岡市】

①男性の意識啓発事業 ②ワーク・ライフ・バランス推進事業 ③女性のキャリア形成支援セミナー

地域の実情と課題

【実情】

- ◆女性の人口割合が高く、特に20代、30代では全国平均を大きく上回っている。
- ◆25～44歳の女性の有業率は74.2%であり、全国平均の76.1%を下回っている。(H29就業構造基本調査)

【課題】

- ◆働きたい女性人材の活用が、本市の成長にとって重要な鍵となる。
- ◆仕事・育児・介護などの両立が問題となるなか、働きやすい環境づくりの支援が必要である。

目的・目標

【目的】

働く場における女性の活躍を推進するため、企業や市民に対する啓発及び取組支援を行い、社会全体におけるワーク・ライフ・バランスの推進や働く女性の能力向上などを図る。

【目標】

- ①参加者数 目標:60人→実績:19人、満足度:目標95%→実績:90%
- ②参加者数 目標:160人→実績:108人、満足度:目標95%→実績:93%
- ③参加者数 目標:60人→実績:35人、満足度:目標100%→実績:97%

事業の特徴

- ①企業の管理職や男性を主な対象として、男女がともに働きやすい労働環境の整備などを目的とし、男性の育児休業の取得や家事育児シェアの推進をテーマとしたセミナーを開催。また、家事育児シェアシート及び男性の育児休業取得の手引きを作成した。
- ②企業の人事担当者を主な対象として、長時間労働の改善やDXの導入等の先進的取組の事例紹介など、多様で柔軟な働き方をテーマとしたセミナーを開催。
- ③将来リーダーとして期待される女性を対象に必要な知識を学べるセミナーや、若手女性社員を対象に、結婚・出産後なども働き続けられるようキャリアデザイン形成セミナーを開催。

連携団体

福岡県
福岡商工会議所
福岡市企業同和問題推進協議会
福岡労働局

など

事業の効果

- ①法改正のポイントや、企業における課題の抽出と現状把握などを情報共有するセミナー内容であり、満足度が高かった。また、男性の育児休業取得の手引きの提供など具体的な支援に繋がった。
- ②③様々な視点からセミナーを提供でき、満足度の高い内容となった。

今後の課題

働く場における女性活躍推進や、社会全体におけるワーク・ライフ・バランスの促進を図るため、より多くの方が関心をもって参加してもらえるようセミナーの内容や実施方法を工夫するとともに、男性の意識改革に向けた取組を推進するなど、開催など企業への支援を行うとともに、女性はその個性と能力を十分に発揮できる施策を推進していく。

事業の概要

男性の意識啓発事業

1. 企業の管理職や男性を主な対象として、男女がともに働きやすい労働環境の整備などを目的とし、家事育児シェアや男性の育児休業の取得促進をテーマとしたセミナーを開催

- ◆ 日程
令和4年3月1日
- ◆ 参加者
14人

- ◆ 内容
第1部 セミナー
① 男性の育児休業取得に関する制度及び給付金等について
② 男性の育児休業取得に関する個人・企業におけるメリット
- 第2部 質疑応答及び意見交換・交流会



2. 家事育児シェアシート及び男性の育児休業取得の手引きの作成

◆ 制作物

○ 家事分担から家事シェアに変えて「家族事」始めませんか？

○ 男性の育児取得の手引き



ワーク・ライフ・バランス推進事業

企業の人事担当者を主な対象として、長時間労働の改善やDXの導入など、先進的取組み事例の紹介など、多様で柔軟な働き方をテーマとしたセミナーを開催

- ① “男性学”の視点から男女がともに生きやすい社会を考える

- ◆ 日程 令和4年1月13日
- ◆ 参加者 70人

- ② ワークライフバランス×DX

- ◆ 日程 令和4年2月16日
- ◆ 参加者 21人

- ③ 働き方改革はこう進めた

- ◆ 日程 令和4年2月25日
- ◆ 参加者 17人



女性のキャリア形成支援セミナー

将来リーダーとして期待される女性を対象に必要な知識を学べるセミナーや、若手女性社員を対象に、結婚・出産後も働き続けられるようキャリアデザイン形成セミナーを開催

◆ 開催日

リーダー：令和3年12月16日、
令和4年1月12日、2月10日、24日
若手：令和3年12月15日、令和4年1月26日

◆ 参加者 35人

◆ 内容

- ・キャリアデザイン
- ・ロジカルシンキング
- ・リーダーの役割
- ・キャリアの振り返り など

